

石クリ通信

11月号

日本学術会議任命問題

院長 石川 悟

石クリ通信に政治的な問題を載せるのは好むところではありませんが、政府の対応のひどさに憤りを覚えたので、今回の任命問題にコメントしたいと思います。

ご存知のように、政府に批判的な言動を行っていた6人の学者が任命を拒否されました。税金を使って準公務員としてお金をもらっているのだから、偉い学者でも政府の方針に反対して行動している人を会員にするのはおかしい、今まで学術会議の推薦をなんのチェックもなく受け入れていたやり方こそ批判されるべきだ、という意見があります。首相は「総合的・俯瞰的」に判断して、法律に則って任命したので問題はない、としています。

果たしてそれでいいのでしょうか。6人をなぜ外したのか、まったく説明されていません。「そんなことは言わせないで、わかっていてるでしょう。そのくらの付度をするのが大人の日本人でしよう。」というのが本音のところだと思えます。

政府のやり方を自由に批判する学問や思想を認める風土がなければ、国の発展はない、と思います。国家権力は法律を守れば、何をやってもいいのでしょうか。

例えばAさんは公務員、国の施策に反対の意見をSNSに載せました。ある日スピード違反を指摘され、罰金と休職を命じられました。Aさんの前後を走っていた2台の車はおとがめなしでした。Bさんは新聞に、政府の進める安保法制に反対する意見を投稿しました。職場の送別会で遅くまで飲酒し、翌朝玄関を出たところで酒気帯び運転で逮捕、懲戒免職となりました。同僚は何の処分もないので自分だけの処分は異議を唱えました。が「総合的・俯瞰的」に判断したもの、同僚のプライバシーがある、以上はまったくの架空ストーリーです。でもこれから、戦前の「治安維持法」や、6月から施行された中国の「香港国家安全維持法」のようなものが、出て来るおそれもあります。しっかりと目を光らせてゆかなければなりません。

茨城の魅力？

看護師 澤田 彰子

先日、都道府県魅力度ランキングが発表され、茨城県は7年連続最下位を脱出しました。どこまで浮上できるか今後が楽しみです。第1位は12年連続で北海道。コロナ騒ぎがなければ北海道に住む人の家に行く予定でしたが、未だ落ち着かないので、今年はデパートの北海道物産展で我慢することにしました。さすが魅力度第1位だけあって、私の胃袋も魅了されました。

生きているだけです！

事務長 石川 都

ウニやナマコなど棘皮動物の専門家で、「歌う生物学者」とも呼ばれる本川達雄は、前作のベストセラー「ゾウの時間 ネズミの時間」に続き、今度は「ウニはすごい バッタもすごい」を出した。これはナマコやホヤなど、普段私たちが食べるだけの付き合いしかない動物たちが、それぞれ進化の過程で独特の体の構造を持ち、上手に生きていることを紹介した本である。

およそ三十八億年前に海で誕生した生物は、紫外線を吸収するオゾン層が大气中に形成されてようやく四億年前に上陸することができた。水がなければ生きてゆけない生物は、体表を毛や皮膚で覆い、重力の中で体重を支え移動するためには、四肢や骨格を必要とした。さらに食物探しも容易なことではなく、たとえ手に入ってもそれを消化するには歯や顎や長い腸を必要とした。その点水中のアサリやホヤは、水中に漂う有機物の微小粒子を濾しとるという非常に楽な濾過摂食で済むので顎も要らない。四肢動物に大腸ができたのは、陸上では捕食者に見つからないよう排泄物を溜めておくためであり、やがて水の貴重な陸上で、その間に糞から水も回収するようになった。

そんな過酷な陸上生活を、私たちは大変とも思わずに日々暮らしているが、これは実にすごいことではないだろうか！そして私たちの体は文句も言わずにこんなすごいことを毎日し続けており、実にけなげである！と著者は切々と述べる。そして彼はさらに続ける。現代の若者に自殺が多いのは、「夢をかなえよう」「私らしく生きよう」といった現代特有の志向性もあるのかも知れない。自己実現して何者かにならないという意味はない、ただ存在しているだけで無意味なんだという考えが広まっていることは実に残念である。・と。長年ナマコやホヤを相手にしてきた著者から見れば、人間は生きているだけでもすごい！余計なことなど何もしなくてもいい！こうして生きていることにものすごく意味がある！。もちろん人間は高級なこともいろいろやってはいるが、それは今生きているということとを十分尊重した上でのことだ！と彼は力説する。

精神の健康のためにも、自身の体のすごさを時々思い出すのがいいと述べる本川氏の言葉には実に重みがあった。「ナマコの歌」など生物賛歌の自作CDもとても楽しく生物愛にあふれているので、皆様も一度聞いてみて下さい。

キレイな浴室をキープ

看護助手 柴田 さち子

入浴後には、こまめに水気を拭き取りましょう！浴室の近くに古タオルやバスタオルなどを用意しておき、家族全員の入浴が済んだら、壁や床などの水分を拭き取ります。これだけでもカビの発生をかなり抑えられます。毎日の習慣にしましょうと、掃除の手間もラクラクです。ぜひ試してみてください。

やっぱり食欲の秋

事務 田所 弓佳

この季節になるとスーパーのお菓子売り場やコンビニのスイーツコーナーにたくさんのお菓子が並び、おやつに使った商品を見かけます。私はさつまいもが好きなので、この季節はついさつまいも商品を買いたくなります。買い過ぎとわかっていても「今の時期じゃないと買えないから」と甘えて買ってしまします。ですがさすがに食べ過ぎに注意ですね。もうそろそろ秋が終わってしまうのでまた来年か。

食欲の秋！

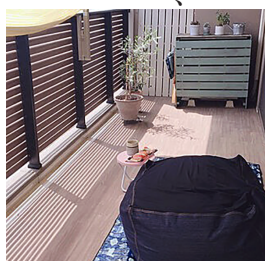
事務 森 多加子

食欲の秋がやってきました。私は食べることが大好きです。美味しいものの情報を得ると、少々遠出となっても出かけます。特にパンには目がなく、パンの街と言われている「つくば」にはよく出かけていました。けれど県南でのコロナ感染が多いため、最近では行けていませんでした。近くに美味しいパン屋さんがあればと思っていたら大襲にありました。一本堂という食パン専門店。生クリーム食パンや低糖質食パン、レーズン食パン。毎日いろいろな食パンが焼かれています。全種類制覇を目指そうと思っていますが、私のからだも食パンのようになってしまいかも。

ベランピング

看護師 太田 小百合

ベランピングとは、「ベランダ」と高規格キャンプのグラмпピングを掛け合わせた造語です。自宅のベランダにアウトドア空間を作って、ゆったりと過ごすライフスタイルだそうです。コロナで外に出る機会も減り、退屈な毎日、家のベランダで過ごすのもいいかなあ、と思いついてベランピングしてみました。外出できなくても外の空気を感じられて、一味違った「おうち時間」を過ごせました。皆さんもいかがでしょうか。



四歳の誕生日

通信・ウェブ担当 石川 香

娘が四歳になりました。色々出来るようになったなあと思う反面、私の毎日の時間はほぼ全てを占めているのにまだ四年かあとも思います。成人するまであと十六年。先は長い！と考えながら、ふと自分のことを思うと、私の人生倍速で進んでしまっているようにも思えます。平均寿命にも届かず、人の一生は長いものですね。